

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
専門研究 I				加藤 好雄	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	3 年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>学科の目的は「社会科学の各分野を統合した教育により、北近畿地域において強く求められている、地域社会の再生、企業活動の活性化を目指して、実践的能力を活用できる人材を育成する」とされている。</p> <p>近年、社会や企業が求める最も必要な能力として「複雑な課題解決能力」が挙げられるが、この能力に必要なものとして思考法や経営学・マーケティングの知識をベースとした課題解決の手法がある。またその解決案は客観的な根拠（データ）に基づいていなければならない、そのために必要なのがデータ分析の知識・能力になる。本授業では、今までに習得したこれらの基礎的な知識・能力を活用することで、これから実際に行う就職活動や卒業後意識し続けなければならない「仕事（ビジネス）」について考える。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>本授業では、以下の3点の知識・能力を習得することを目的とする。</p> <p>①課題解決の手法の基礎を理解し、利用することができる。</p> <p>②データ分析の基礎概念を理解し、利用することができる。</p> <p>③経済学・経営学の知識をもとに業界・企業分析ができる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス				
第 2 回	業界・企業分析の手法				
第 3 回	業界・企業分析の実際				
第 4 回	調査手法① 資料の収集方法				
第 5 回	調査手法② 論文検索等				
第 6 回	分析手法① 分野別の分析方法を学ぶ				
第 7 回	分析手法② データの分析方法				
第 8 回	経過報告				
第 9 回	現地調査① (テーマにより現地調査が必要な場合)				
第 10 回	現地調査② (テーマにより現地調査が必要な場合)				
第 11 回	資料の作成方法①				
第 12 回	資料の作成方法②				
第 13 回	プレゼンテーションの方法				
第 14 回	業界・企業分析の発表				
第 15 回	後学期の予定作成・報告				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>業界・企業分析は週1回の授業時間だけで行うことはできないため、調査、分析、資料作成等は授業時間外で行う必要がある。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
平常点 研究成果	(40%) (60%)	秀：「授業の到達目標」を非常に高いレベルで満たしている。 優：「授業の到達目標」を高いレベルで満たしている。 良：「授業の到達目標」を十分に満たしている。 可：「授業の到達目標」を満たしている。 不可：「授業の到達目標」を満たしていない。
テキスト (Textbook)		【書名】 【著者】 各自のテーマによる。 【出版社】 【出版年】
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		各自のテーマによる。
備考 (Other Information)		考察だけではなく実証的・科学的な手法を重視するために定量的な分析手法の習得が必要。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		第1回目の講義で説明する。